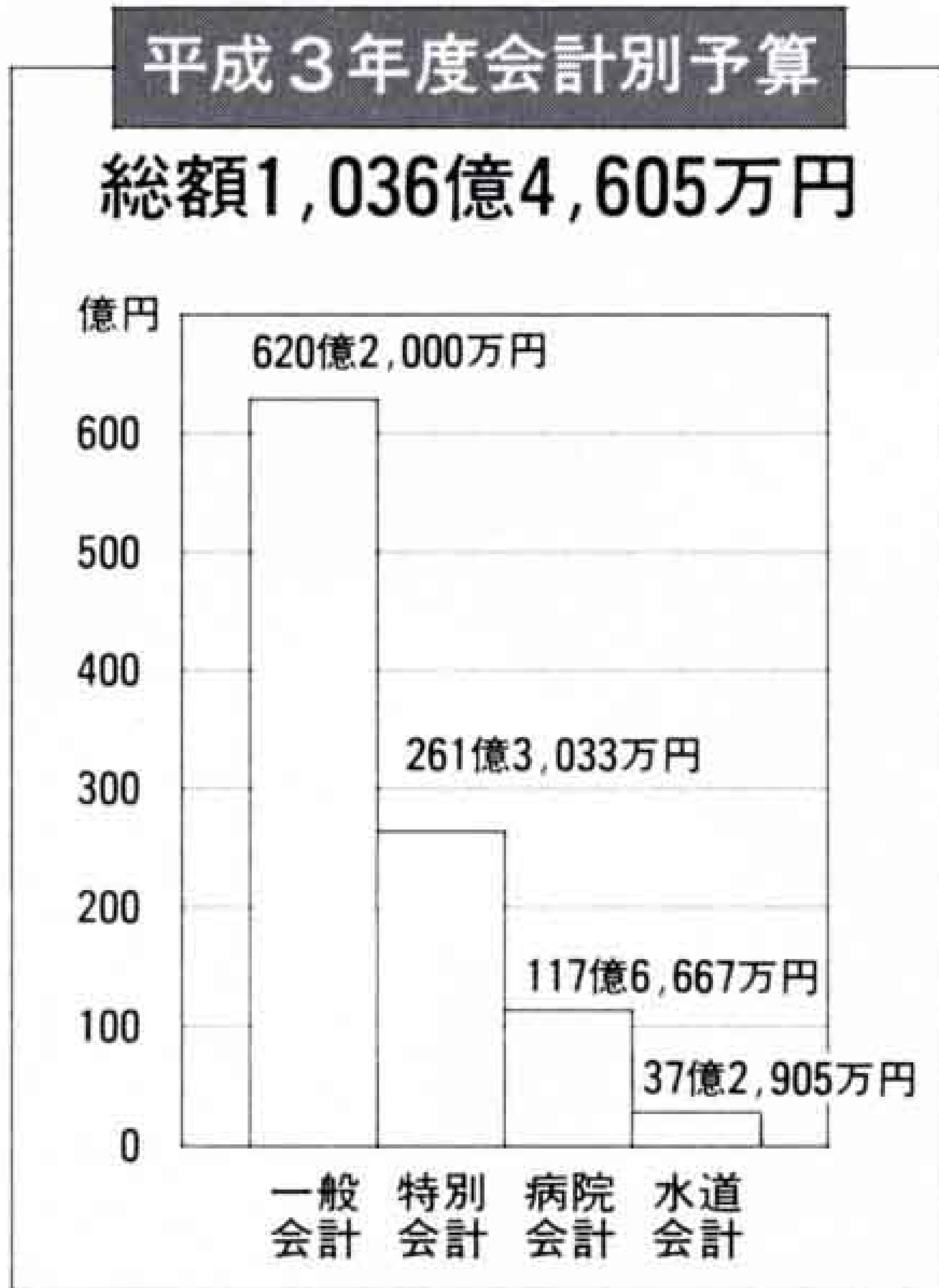
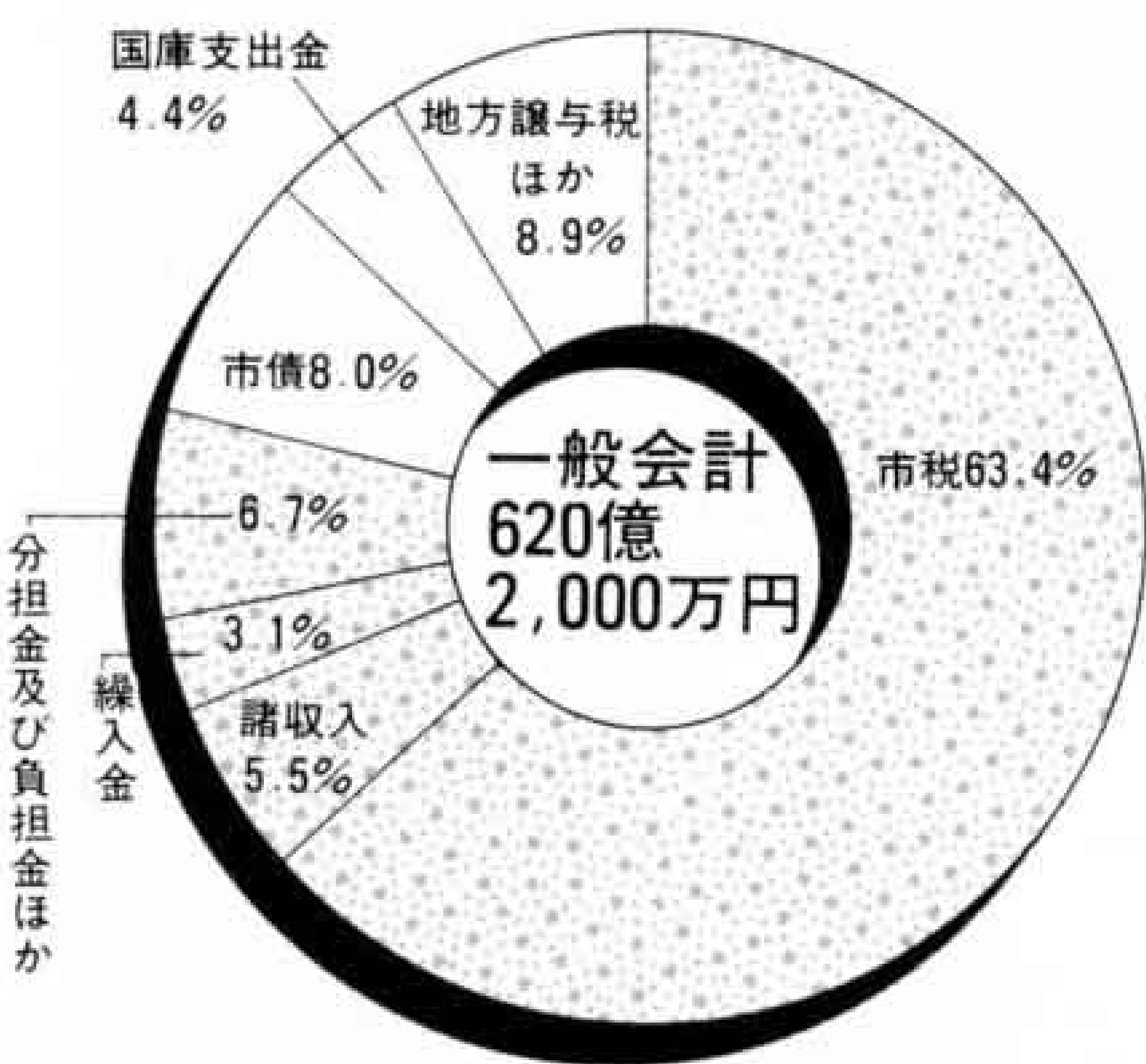


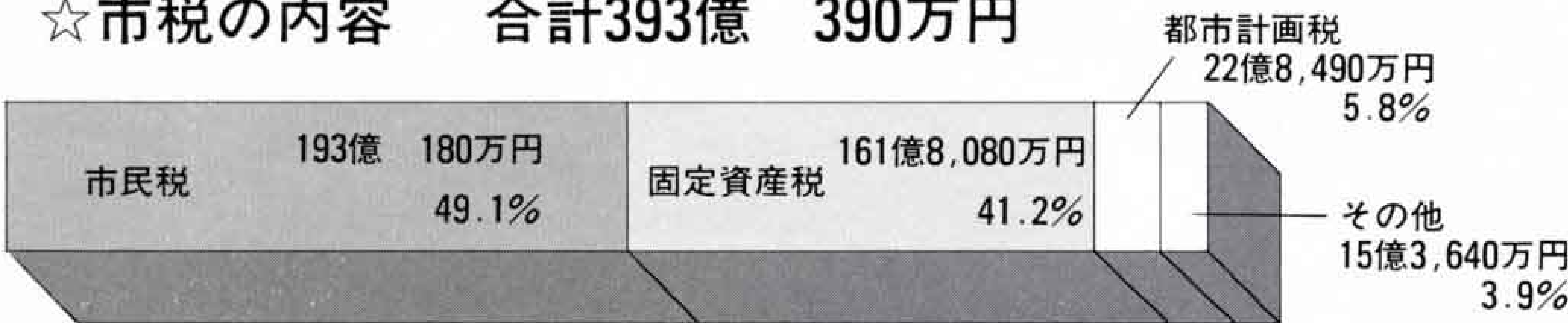
税金の使い道をご存じですか。市は、財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年6月と12月に「富士市の財政」を公表しています。

それでは、平成3年度の当初予算と2年度の予算執行状況をお知らせします。

☆財源別歳入



☆市税の内容 合計393億 390万円



平成3年度一般会計

一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉教育・道路・消防などに使われる会計です。

歳入		
会計年度内(4・1～翌年3・31)に入ってくるお金		
金額は1万円未満を四捨五入		
科目別	金額	構成比
総額	620億2,000万円	100%
市税 (市民税、固定資産税など)	393億 390万円	63.4%
市債 (市の借入金)	49億2,695万円	8.0%
諸収入 (預金利子など)	33億8,945万円	5.5%
国庫支出金 (国からの補助金など)	27億1,630万円	4.4%
地方譲与税 (国から地方に譲与されるお金)	19億3,500万円	3.1%
県支出金 (県からの補助金など)	19億2,400万円	3.1%
繰入金 (基金からの繰入金)	19億4,391万円	3.1%
分担金及び負担金 (施設入所者の負担金など)	15億6,529万円	2.5%
その他	43億1,520万円	6.9%



—財政事情の公表—

一般会計は

7.8%の伸び

ふれあいのある、快適な町を目指すための予算が決まりました。

平成3年度の予算は、一般会計が620億2,000万円(対前年7.8%増)、企業会計(病院・水道)を含む特別会計が416億2,605万円(同4.1%増)、総額では、1,036億4,605万円(同6.3%増)です。

一般会計の歳入で、63.4%を占めるのが市民税や固定資産税などの市税です。市税は合計で、393億390万円、前年度に比較すると5.7%、21億3千万円の増加を見込んでいます。

また、市債や国庫支出金、地方譲与税など依存財源が、21.3%を占めています。

平成3年度
一般会計は
620億2,000万円

歳出のトップは
教育費

一般会計の歳出予算総額六百二十億二千万円を目的別に見ると、教育費がトップで全体の二四・二%、百四十九億九千八百二十二万円で、これは前年度と比較すると、一一・五%、十五億四千六百九十二万円の増加です。

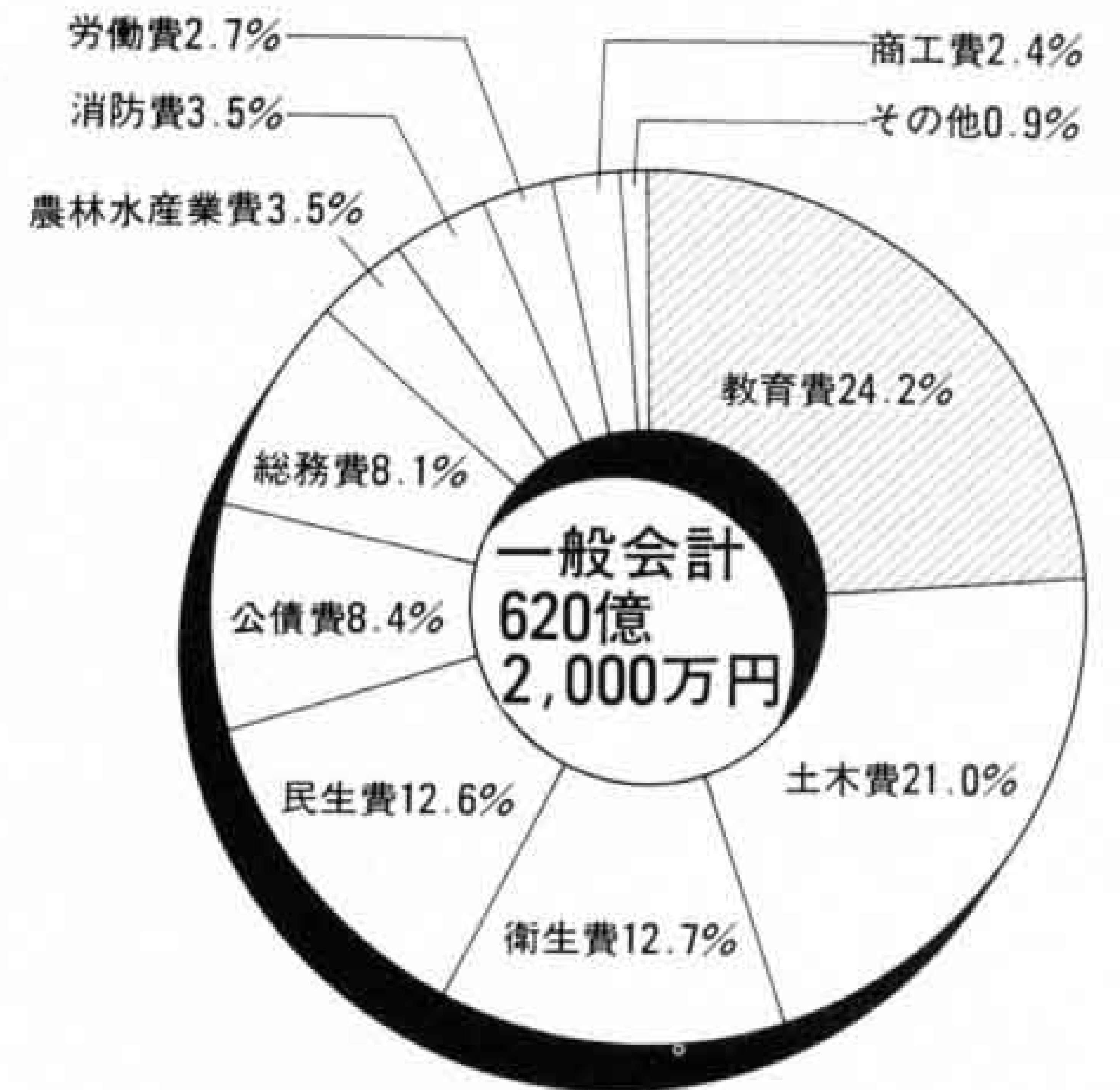
主な事業は、(仮称)富士中部小学校の造成工事や、須津、鷹岡、東小学校の増改築、富士中学校の屋内運動場建設など。また、吉原商業高等学校の校舎改築もあります。このほか、前年度からの継続事業である(仮称)文化会館建設の大型事業があります。

次に多いのが土木費で、二一%、百三十億五千三百六十六万円です。

主な事業は、市街地整備としての富士中部土地区画整理事業や、市道の新設改良事業、都市計画画街路新設改良事業など。このほかにも、快適な生活に欠かせない公共下水道整備事業があります。

最も伸びが著しいのは衛生費で、三〇・八%の増加です。これは、看護専門学校建設工事などのためです。

☆目的別歳出



市民1人当たりにお金 27万4,496円			
教育に 6万6,381円	道路や河川の整備に 5万7,561円	ごみ処理や病気の予防に 3万4,882円	社会福祉に 3万4,536円
借りましたお金を返すために 2万2,963円	庁舎管理などに 2万4,948円	産業の発展に 2万3,686円	消防活動に 9,539円

(平成3年3月31日現在の人口22万5,941人で算出)

歳出

会計年度内(4・1~翌年3・31)に支出するお金

金額は1万円未満を四捨五入

科目別	金額	構成比	使 い 道
総 額	620億2,000万円	100%	
教 育 費	149億9,812万円	24.2%	学校整備や社会教育などに
土 木 費	130億 536万円	21.0%	道路や河川の整備に
衛 生 費	78億8,119万円	12.7%	ごみ処理や病気の予防に
民 生 費	78億 317万円	12.6%	社会福祉などに
公 債 費	51億8,831万円	8.4%	借りましたお金を返すために
総 務 費	50億1,339万円	8.1%	庁舎管理や人件費などに
農林水産業費	21億9,013万円	3.5%	農林業や水産業のために
消 防 費	21億5,531万円	3.5%	消防、水防、防災のために
労 働 費	16億9,356万円	2.7%	働く人たちのために
商 工 費	14億6,804万円	2.4%	商業や工業発展のために
そ の 他	6億2,342万円	0.9%	議会費、災害復旧費などに

ひとくち財政用語

自主財源と依存財源 自主財源は、市税や使用料など、市が自らの意志で徴収するものです。依存財源は、国庫支出金や地方譲与税のように国から市に交付されるものです。

富士市は、自主財源が七八・七%ですから、極めて健全安定型と言えます。

特別会計 行政の基本的な経費は一般会計、事業ごとに分けて独立させたものは特別会計と言います。富士市は、一六の特別会計と二つの企業会計があります。

市債 市が、建設事業などを行うため、国や銀行から長期にお金を借りることです。

平成2年度一般会計

平成3年3月31日現在。出納整理期間が5月31日までとなっているため、歳入・歳出とも未整理のものがあります。

	10	20	30	40	50	60	70	370	380	390	億円
市 税	[Bar]							383億5,035万円	371億8,217万円		
市 債	[Bar]							47億8,190万円	4億2,875万円		
諸 収 入	[Bar]							36億5,728万円	17億3,862万円		
繰 越 金	[Bar]							32億1,360万円	32億1,360万円		
国 庫 支 出 金	[Bar]							25億8,508万円	22億3,750万円		
地 方 譲 与 税	[Bar]							21億8,900万円	21億8,728万円		
県 支 出 金	[Bar]							19億3,140万円	9億 388万円		
そ の 他	[Bar]							54億8,339万円	59億3,762万円		

歳 入	
予算総額	621億9,200万円
収入済額	538億2,942万円

順調に歳入の伸び

平成2年度予算の執行状況

財政事情の公表

	140	130	120	110	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	億円	
土木費	[Bar]														146億6,190万円	113億1,674万円
教育費	[Bar]														140億9,664万円	110億4,471万円
民生費	[Bar]														80億1,280万円	73億3,679万円
衛生費	[Bar]														58億5,242万円	54億2,404万円
総務費	[Bar]														56億4,566万円	42億4,521万円
公債費	[Bar]														48億3,755万円	38億6,914万円
農林水産費	[Bar]														20億5,617万円	16億9,417万円
その他	[Bar]														70億2,886万円	55億9,869万円

歳 出	
予算総額	621億9,200万円
支出済額	505億2,949万円



特別会計			
財産管理特別会計は省略しました			
国民健康保険会計		下水道会計	
予算額	82億8,500万円	予算額	70億3,000万円
支出済額	69億9,262万円	支出済額	52億8,617万円
依田原新田区画整理会計		富士中部区画整理会計	
予算額	85万円	予算額	24億8,816万円
支出済額	0万円	支出済額	19億2,852万円
地方卸売市場会計		駐車場会計	
予算額	3億2,610万円	予算額	5,802万円
支出済額	2億9,879万円	支出済額	4,341万円
公共用地先行取得会計		老人保健医療会計	
予算額	9,457万円	予算額	66億9,809万円
支出済額	4,796万円	支出済額	61億9,048万円

企業会計	
⊕病院事業	
収入合計	83億6,399万円
医業収益	72億6,534万円
医業外収益	10億9,865万円
支出合計	84億5,824万円
医業費用	78億9,328万円
医業外費用	5億6,496万円
純損失	△9,425万円
⊕水道事業	
収入合計	27億2,017万円
営業収益	24億6,496万円
営業外収益	2億5,521万円
支出合計	22億1,881万円
営業費用	17億9,130万円
営業外費用	4億2,751万円
純利益	5億 136万円